令和７年度　第２回瑞浪市教育委員会点検評価委員会

日　時：令和７年７月４日（金）１４：００～

場　所：市役所　４階　全員協議会室

出席者 委　員　浅沼　克郎、伊藤　智、西尾　正代、小木曽　誠 事務局　事務局長、教育総務課長、総務係（２名）

１　委員長あいさつ

２　点検評価のまとめ

報告書（案）の構成等について、事務局より説明

第１回委員会で頂いた委員の意見に対する教育委員会の対応等について、各課より説明

【施策１】

委員	幼小連携のつなぎ目の部分が難しいと思います。こども園の参観や、校区のこども園と教頭が小学校のスタートカリキュラムと各園のアプローチプログラムについての話し合いをしているとのことですので、そういう活動を続けていくとよいと思います。

【施策２】

委員	いじめは、「どんな理由があってもいけない」と考える児童生徒の割合は１００％でなければいけないし、男女共同参画に関することも１００％を目指して取り組んでほしいと思います。

【施策３】

委員	校内支援センターについて、令和７年度に小学校２校にも指導員を配置していただきありがたいと思いますが、まだ受け入れが出来ない時間帯があるため、更なる充実に向けて計画的に進めてほしいと思います。

【施策４】

委員	タブレットばかり使っていて、字が書けない、読めない、文章が作れないということになると困るので、手で書くということも大切だと思います。
委員	タブレットの使用について、小学校でどこまで習っているかの差があり過ぎると、統合した中学校で生徒間の差が出来てしまいます。どこかで把握して

	調整が必要だと思います。

【施策５】

委員	給食費の値上げは仕方ないと思います。腸にやさしい、頭が活性化するような良い食材を使って、美味しい給食を子どもたちに食べさせてあげてほしいと思います。

【施策６】

委員	コミュニティ・スクールに対し、もう少し使いやすく、地域の人に還元できるような金銭的な支援があるとよいと思います。

【施策７】

委員	大規模改修やトイレの改修が順調に進んでおり、良い環境で子どもたちを育てられることをありがたく思っています。エアコンの付いてない特別教室へのエアコンの設置もお願いします。

全体

委員	Ａ評価６、Ｂ評価１ということでした。特に心の問題というのは大事なことですので、厳しめに付けさせていただきました。ＰＤＣＡサイクルで精度をどんどん高めながら点検評価を進めてきた成果がここにあると思います。一人一人を大切にし、夢と誇りを育む教育がおおむね順調に進められてきていると思っていますので、これから更に一人一人の教師の指導力向上を図りながら成果を上げていただければと思います。
委員	点検評価委員になって、子どもたちがよい学校生活を送れるよう、皆さんが日々考えてくださっていることが分かりました。
委員	施策の中身が社会の動きに合わせて変わってきていていますが、今後、ますます社会の変化が著しくなると思います。変化に対して子どもへの対応の方向を決めるが、柔軟性も必要になってくると思います。 子どもたちの不安定さは、親の生活の不安定さからきている場合の報告が多くなりました。家庭そのものの支援も必要となると市長部局との連携が益々必要になってくると思います。
委員	施策毎に事業費を追記したことで分かりやすくなり、より概要が明確になったと思います。 ＰＤＣＡサイクルで継続に計画の進行管理をしていくことは、とても大事です。教員が数年で変わっていく中で、一貫性のある教育の充実改善は重要だと感じました。

	悲しい思いをする子を出さない人権教育を瑞浪市は特にこれからも大事に取り組んでいきたいと思いました。 どの子も居場所があり、その子のペースで成長していける場を保障していくことを引き続き大事にしながら点検評価をしていってほしいと感じました。 職員の不祥事が報道されているので、職員のモラル指導は校長先生を中心にされていると思いますが、更に力を入れてほしいと思います。